平成25年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月８日

上場会社名　　藤倉ゴム工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　5121　　ＵＲＬ　http://www.fujikurarubber.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）中　光好
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役管理本部長　　（氏名）神山　幸一　　ＴＥＬ　03-3527-8111

四半期報告書提出予定日　　平成24年11月９日　　配当支払開始予定日　平成24年12月６日
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第２四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	12,764	△4.4	1	△99.5	△80	―	△91	―
24年３月期第２四半期	13,354	△1.7	256	△76.1	81	△91.8	△390	―

（注）包括利益　25年３月期第２四半期　13百万円（－%）　24年３月期第２四半期　△331百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第２四半期	△4.67	―
24年３月期第２四半期	△19.87	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第２四半期	26,754	15,500	57.9
24年３月期	27,629	15,585	56.4

（参考）自己資本　25年３月期第２四半期　15,500百万円　24年３月期　15,585百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	5.00	―	5.00	10.00
25年３月期	―	4.00			
25年３月期（予想）			―	4.00	8.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　有
詳細につきましては、本日別途開示いたしました「特別利益の計上、第２四半期累計期間業績予想と実績値との差異、通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧下さい。

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△1.3	100	△68.6	40	△81.6	50	△21.4	2.54

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有
詳細につきましては、本日別途開示いたしました「特別利益の計上、第２四半期累計期間業績予想と実績値との差異、通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧下さい。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：有
④　修正再表示　：無

（注）第１四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当するものであります。詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期２Ｑ	23,446,209株	24年３月期	23,446,209株
②　期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	3,786,074株	24年３月期	3,786,074株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期２Ｑ	19,660,135株	24年３月期２Ｑ	19,660,135株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きが実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．平成24年５月14日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期については本資料において修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「特別利益の計上、第２四半期累計期間業績予想と実績値との差異、通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧下さい。

２．本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断されている一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、本「平成25年３月期　第２四半期決算短信」（添付資料）３ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 6
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）セグメント情報等 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要もあり、緩やかではあるものの景気持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、中国等新興国経済の伸び悩み、欧州経済の政府債務危機に伴う世界景気減速や円高による輸出の鈍化等により依然として厳しい状況のまま推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）では、海外を含めた生産及び販売展開、新製品の開発、生産性の向上及び不良率の低減を積極的に行いました。また、国内においては４月に加須工場（埼玉県加須市）が竣工し、生産を開始しました。また、臨時的に賃借していた田村工場（福島県田村市）を契約どおりに返却しました。海外においては、５月に安吉藤倉橡膠有限公司（中国浙江省）を竣工しました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は127億６千４百万円（前年同四半期比4.4%減）、営業利益は１百万円（前年同四半期比99.5%減）、経常損失は８千万円（前年同四半期は経常利益８千１百万円）となりました。

さらに、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故に起因した損害の賠償のうち一部合意のあったものについて特別利益に計上しました。また、将来の税負担軽減を見込んで計上していた繰延税金資産の一部を取り崩したこと等により、四半期純損失は９千１百万円（前年同四半期は四半期純損失３億９千万円）となりました。

具体的な内容につきましては、本日（平成24年11月８日）公表しております「特別利益の計上、第２四半期累計期間業績予想と実績値との差異、通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧下さい。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 産業用資材

主力の工業用品部門は、主な自動車メーカーは増産となったものの在庫調整及び品種構成の変化により受注減となったため減収減益となりました。制御機器部門は、医療品分野が好調だったものの、液晶半導体分野については客先の生産調整により受注が減少し、減収減益となりました。電気材料部門は、電力・情報通信関係が好調により収益を押し上げたため増収増益となりました。

この結果、売上高は76億７千７百万円（前年同四半期比4.6%減）、営業利益は３千４百万円（前年同四半期比88.4%減）となりました。

② 引布加工品

引布部門は、一部の自動車関係の受注が好調だったものの、エレクトロニクス関連製品の価格競争が激化し単価が下落したため増収減益となりました。印刷機材部門は、拡販及び工場の経費削減に努めたため増収増益となりました。加工品部門は、運送関連製品と舶用品の国内での売上が好調に推移したため増収増益となりました。

この結果、売上高は22億８千２百万円（前年同四半期比5.1%増）、営業利益は７百万円（前年同四半期は営業損失９千１百万円）となりました。

③ スポーツ用品

ゴルフ用カーボンシャフト部門は、米国での市況悪化による販売不振及び国内販売の買い替え需要の低迷により、前年に比べ減収減益となりました。アウトドア用品部門は、春先は登山ブームによりシューズの売上が好調だったものの、夏場は全国的に猛暑だったため登山用品全体の売上が低調に推移したため減収減益となりました。

この結果、売上高は25億３千９百万円（前年同四半期比10.4%減）、営業利益は１億４千６百万円（前年同四半期比41.7%減）となりました。

④ その他

物流部門は、需要の低迷により荷動きが悪化したため、減収減益となりました。

この結果、売上高は２億６千５百万円（前年同四半期比12.5%減）、営業利益は３千４百万円（前年同四半期比15.7%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較し、８億７千４百万円減少の267億５千４百万円となりました。また、負債合計は前連結会計年度末と比較し、７億９千万円減少の112億５千３百万円となりました。純資産は155億円となり、これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の56.4%から57.9%に上昇いたしました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年５月14日に公表いたしました業績予想のうち、通期連結業績予想を下表のとおり修正いたしました。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）	27,000	750	700	500	25円43銭
今回修正予想（Ｂ）	26,000	100	40	50	2円54銭
増減額（Ｂ－Ａ）	△1,000	△650	△660	△450	―
増減率（％）	△3.7	△86.7	△94.3	△90.0	―
（ご参考）前期実績（平成24年３月期）	26,350	318	217	63	3円24銭

具体的な内容につきましては、本日（平成24年11月８日）公表しております「特別利益の計上、第２四半期累計期間業績予想と実績値との差異、通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧下さい。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益、税金等調整前四半期純利益はそれぞれ16,489千円増加、また、経常損失は16,489千円減少しております。

２．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,724,864	2,711,229
受取手形及び売掛金	6,656,075	6,594,074
有価証券	1,200,459	900,000
商品及び製品	1,745,095	1,978,149
仕掛品	2,213,278	2,133,033
原材料及び貯蔵品	550,879	580,254
その他	1,248,340	1,225,476
貸倒引当金	△19,620	△22,199
流動資産合計	17,319,372	16,100,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,944,513	2,960,456
機械装置及び運搬具（純額）	1,888,157	2,151,385
土地	3,167,780	3,168,416
建設仮勘定	1,478,023	618,397
その他（純額）	268,959	276,645
有形固定資産合計	8,747,434	9,175,300
無形固定資産	176,922	183,870
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,400,961	1,307,194
貸倒引当金	△14,984	△11,641
投資その他の資産合計	1,385,976	1,295,553
固定資産合計	10,310,333	10,654,724
資産合計	27,629,706	26,754,744

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,343,881	2,435,969
短期借入金	4,052,392	4,156,373
未払法人税等	146,063	117,206
賞与引当金	287,143	287,635
その他	1,942,545	1,407,102
流動負債合計	8,772,026	8,404,287
固定負債		
長期借入金	2,400,000	1,880,568
退職給付引当金	649,749	746,040
環境対策引当金	42,467	42,467
資産除去債務	20,800	20,800
その他	159,211	159,724
固定負債合計	3,272,228	2,849,600
負債合計	12,044,255	11,253,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,804,298	3,804,298
資本剰余金	3,230,719	3,230,719
利益剰余金	10,303,876	10,113,861
自己株式	△1,556,395	△1,556,395
株主資本合計	15,782,499	15,592,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,493	14,841
繰延ヘッジ損益	379	－
為替換算調整勘定	△289,920	△106,469
その他の包括利益累計額合計	△197,047	△91,627
純資産合計	15,585,451	15,500,856
負債純資産合計	27,629,706	26,754,744

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	13,354,968	12,764,890
売上原価	10,767,435	10,432,515
売上総利益	2,587,532	2,332,374
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	230,353	186,329
給料及び手当	795,708	790,836
賞与引当金繰入額	90,232	79,746
退職給付費用	63,604	58,139
減価償却費	45,237	46,953
開発研究費	186,724	185,424
その他	919,614	983,546
販売費及び一般管理費合計	2,331,475	2,330,975
営業利益	256,057	1,399
営業外収益		
受取利息	3,372	15,115
受取配当金	32,595	29,364
受取賃貸料	30,606	12,343
その他	33,806	76,163
営業外収益合計	100,381	132,986
営業外費用		
支払利息	18,831	22,929
賃貸収入原価	15,602	3,481
為替差損	182,478	67,372
その他	58,077	121,021
営業外費用合計	274,990	214,805
経常利益又は経常損失（△）	81,448	△80,419
特別利益		
固定資産売却益	428,145	－
受取補償金	－	195,910
その他	50,000	－
特別利益合計	478,145	195,910
特別損失		
投資有価証券評価損	－	32,099
固定資産除却損	166,938	－
災害による損失	463,081	－
特別損失合計	630,019	32,099
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△70,426	83,391
法人税、住民税及び事業税	168,763	109,062
法人税等調整額	151,500	66,043
法人税等合計	320,263	175,105
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△390,689	△91,714
四半期純損失（△）	△390,689	△91,714

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△390,689	△91,714
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△93,875	△77,651
繰延ヘッジ損益	－	△379
為替換算調整勘定	153,036	183,451
その他の包括利益合計	59,160	105,420
四半期包括利益	△331,528	13,705
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△331,528	13,705

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△70,426	83,391
減価償却費	701,972	543,236
のれん償却額	－	2,117
環境対策引当金の増減額（△は減少）	2,037	－
災害損失引当金の増減額（△は減少）	△42,658	－
災害による損失	3,890	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△11,811	△1,160
賞与引当金の増減額（△は減少）	△3,771	347
退職給付引当金の増減額（△は減少）	92,683	96,246
受取利息及び受取配当金	△35,967	△44,480
支払利息	18,831	22,929
為替差損益（△は益）	149,523	125,460
投資有価証券評価損益（△は益）	－	32,099
有形固定資産除却損	67,562	6,077
有形固定資産売却損益（△は益）	△428,145	－
受取補償金	－	△195,910
売上債権の増減額（△は増加）	△194,761	84,556
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,006,217	△165,030
前払費用の増減額（△は増加）	△30,795	14,415
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△127,952	△79,593
仕入債務の増減額（△は減少）	662,450	76,828
未払金の増減額（△は減少）	196,251	△172,664
未払費用の増減額（△は減少）	60,337	△97,081
その他の流動負債の増減額（△は減少）	284,350	3,170
未払消費税等の増減額（△は減少）	21,748	△94,777
その他の固定負債の増減額（△は減少）	1,556	2,423
その他の負債の増減額（△は減少）	△21,153	4,327
その他	7,954	6,133
小計	297,490	253,062
利息及び配当金の受取額	40,264	45,711
利息の支払額	△18,829	△22,973
補償金の受取額	－	195,910
法人税等の支払額	△141,158	△142,613
営業活動によるキャッシュ・フロー	177,767	329,098

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	303,192	300,000
有形固定資産の取得による支出	△1,417,963	△1,118,219
有形固定資産の売却による収入	416,889	－
無形固定資産の取得による支出	△7,049	△21,545
投資有価証券の取得による支出	△32	△66
定期預金の増減額（△は増加）	550,840	－
貸付けによる支出	△20,610	△34,200
貸付金の回収による収入	19,983	36,681
その他の支出	△82,185	△8,444
その他の収入	16,103	9,329
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220,832	△836,464
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	776,550	△540,451
長期借入れによる収入	2,000,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△250,000	△375,000
配当金の支払額	△91,780	△98,222
リース債務の返済による支出	△6,233	△6,485
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,428,535	△520,159
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,067	13,890
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,391,537	△1,013,634
現金及び現金同等物の期首残高	2,485,917	3,724,864
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,877,455	2,711,229

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計	調整額（注）１	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額（注）２
	産業用資材	引布加工品	スポーツ用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	8,045,714	2,171,296	2,835,093	302,864	13,354,968	―	13,354,968
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	86,474	86,474	△86,474	―
計	8,045,714	2,171,296	2,835,093	389,338	13,441,442	△86,474	13,354,968
セグメント利益又は損失（△）	300,313	△91,504	251,807	40,769	501,386	△245,329	256,057

（注）１ セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去301千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△245,631千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。
２ セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計	調整額（注）１	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額（注）２
	産業用資材	引布加工品	スポーツ用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	7,677,972	2,282,298	2,539,493	265,126	12,764,890	―	12,764,890
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	98,018	98,018	△98,018	―
計	7,677,972	2,282,298	2,539,493	363,145	12,862,909	△98,018	12,764,890
セグメント利益	34,881	7,833	146,704	34,360	223,779	△222,380	1,399

（注）１ セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去219千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△222,600千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。
２ セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。